



## 検診率を上げて健康に！ いざというときは情報が大切。

【自由民主党目黒区議員】  
橋本 欣一 議員

<目黒区から国を考える>(1)永住外国人への地方選挙権付与法案について、他の地方自治体では首長が考えを表明しているところがあるが、青木区長はどのようにこの法案を考えているのか。(2)区内にある各国大使館などとの交流について考えを伺う。

意見を十分に踏まえ、慎重に結論を出すべきと考える。(2)目黒区国際交流協会と連携し、大使館との共同によるイベント事業等を引き続き実施し、地域行事への協力なども働きかけていく。

区長 (1)賛否両論あり、さまざまな

## 最近の委員会の主な議題 (平成22年1月～3月)

### 常任委員会

#### 企画総務委員会

- 1月13日(水)
  - ・名譽区民の選定手続き
  - ・訴訟事件の報告(2件)
  - ・気仙沼市との今後の交流
  - ・職員の新規処分
  - ・契約報告(6件)
- 2月8日(月)
  - ・実施計画改定案
  - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
  - ・目黒区行幸計画(行動計画)(改定案)
  - ・公の施設使用料の見直し方針(改定案)
  - ・訴訟事件の報告(4件)
  - ・契約報告(10件)
- 3月3日(水)
  - ・議案審査
  - ・平成22年度組織改正
  - ・平成21年度都区財政調整再調整
  - ・平成22年度都区財政調整
  - ・電子申請及び電子調達の新システム
  - ・訴訟事件の報告
  - ・事故処理結果
  - ・五本木二丁目防災備蓄倉庫等(仮称)実施設計(案)
  - ・契約報告(6件)
  - ・目黒区登録業者の指名停止措置
- 3月4日(木)
  - ・陳情審査
- 3月5日(金)
  - ・議案審査(補正予算)

#### 生活福祉委員会

- 1月13日(水)
  - ・目黒区区民斎場及び目黒区心身障害者センターの臨時休館
  - ・平成22年度まちづくり活動助成事業の実施
  - ・ワンストップ・サービス・デイの実施結果及び年末年始の生活総合相談の状況
  - ・ふれあいいきいきサロン事業
  - ・グループホームの移転
  - ・目黒区立中央町二丁目障害福祉施設及び児童厚生施設(仮称)の愛称
  - ・「健康めぐろ21」改定に向けた区民等意識調査
  - ・第4回目黒健康フェスティバルの開催
- 1月26日(火)
  - ・平成22・23年度東京都後期高齢者医療保険料率案
  - ・特別区国民健康保険料に係る賦課方式の移行
  - ・平成22年度目黒区地域密着型サービス整備補助事業に係る事業者の募集
  - ・健康成人等に対する新型インフルエンザワクチン接種
- 2月8日(月)
  - ・実施計画改定案
  - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
  - ・公の施設使用料の見直し方針(改定案)
  - ・平成22年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果
  - ・大橋一丁目公共公益施設の内装設計案
  - ・災害時要援護者の避難支援体制整備の基本方向
  - ・目黒本町二丁目複合施設(仮称)新築工事実施設計(案)
- 2月23日(火)
  - ・平成22年度国民健康保険事業の主な改正内容等
  - ・原町住区センター住区会議室の臨時休館
  - ・緊急保証制度の拡大
  - ・平成22年度産業経済部の主な新規事業等
  - ・平成22年度健康福祉部・健康推進部の主な新規・臨時事業等(予定)
  - ・食中毒の発生に伴う行政処分
- 3月3日(水)
  - ・議案審査
  - ・平成22年第1回臨海部広域斎場組合定例会

- ・事故処理結果
- 3月4日(木)
  - ・陳情審査
- 3月26日(金)
  - 【視察:スマイルプラザ中央町】

#### 都市環境委員会

- 1月13日(水)
  - ・目黒本町五丁目地区地区計画等の告示
  - ・都立大学駅周辺地区香川柿の木坂支流上部駐輪場(仮称)及び緑道等整備
  - ・工事報告「都市計画道路補助第30号線街路築造工事(その2)」ほか1件
  - ・五本木東児童遊園改良に向けた取り組み
  - ・目黒区営清水町アパート建替え及び高齢者福祉住宅整備事業の経過
- 2月8日(月)
  - ・実施計画改定案
  - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
  - ・公の施設使用料見直し方針(改定案)
  - ・目黒三丁目防災まちづくり用地(旧業師湯跡地)活用に係る実施設計案
  - ・工事報告「洗足二丁目自転車等駐車場(仮称)」、「大橋一丁目自転車等駐車場(仮称)整備工事」ほか3件
  - ・都立大学駅前電線類地中化事業及び工事説明会の開催
  - ・緑確保の総合的な方針(案)
  - ・原町一丁目ひろば(仮称)整備(案)
  - ・目黒区立中央町二丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例制定の考え方
  - ・区民住宅高額滞納者への対応
  - ・目黒本町二丁目複合施設(仮称)新築工事実施設計(案)
  - ・「目黒区総合治水対策基本計画」改定素案
  - ・学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成に向けた交通安全対策の検討案
  - ・目黒川浄化対策実験の実施結果
  - ・工事報告「道路改良工事(中目黒二丁目先)」、「河川維持工事(目黒一丁目先)」、「洗足二丁目街かど公園(仮称)の名称及び開園
  - ・「区民住宅高額滞納者への対応状況
  - ・資源とごみの排出実態調査結果
- 3月3日(水)
  - ・議案審査
  - ・「目黒区総合治水対策基本計画」改定素案
  - ・学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成に向けた交通安全対策の検討案
  - ・目黒川浄化対策実験の実施結果
  - ・工事報告「道路改良工事(中目黒二丁目先)」、「河川維持工事(目黒一丁目先)」、「洗足二丁目街かど公園(仮称)の名称及び開園
  - ・「区民住宅高額滞納者への対応状況
  - ・資源とごみの排出実態調査結果
- 3月4日(木)
  - ・陳情審査

#### 文教子ども委員会

- 1月13日(水)
  - ・興津ネイチャースクール(仮称)の設置(案)
  - ・目黒区めぐろパーシモンホール及び八雲体育館の臨時休館
  - ・学校運営協議会設置校活動報告会の実施
  - ・目黒区立東山小学校舎改築等基本設計案に関する説明会の実施結果等
  - ・目黒区体育指導委員制度50周年記念事業の開催
  - ・目黒区立中央町保育園増築・改修工事基本設計(案)
- 2月3日(水)
  - ・区長と教育委員会の職務権限の変更及び平成22年度以降の組織編成の考え方(案)に係る他地区の調査
  - ・平成22年度校庭整備の進め方等
  - ・平成22年度全国学力・学習状況調査の希望利用
  - ・「平成22年度目黒区成人の日」のついでに実施結果
  - ・目黒区立中央町二丁目障害福祉施設及び児童厚生施設(仮称)の愛称
- 2月8日(月)
  - ・実施計画改定案
  - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
  - ・公の施設使用料の見直し方針(改定案)
  - ・平成22年度以降の組織編成の考え方(案)についての関係団体への説明
  - ・目黒区美術館資料の収集
  - ・平成22年度校庭整備の進め方等
  - ・大橋一丁目公共公益施設の内装設計案
  - ・目黒本町二丁目複合施設(仮称)新築工事実施設計(案)
- 2月10日(水)
  - ・目黒区立中央町二丁目障害福祉施設及び児童厚生施設(仮称)の愛称
  - ・平成22年度区立幼稚園の入園申込状況
  - ・区立中学校特別支援学級(情緒障害等)の設置
  - ・洗足図書館の蔵書点検に伴う臨時休館の中止
  - ・乳幼児を持つ親が気軽に利用できる民間飲食店舗の整備促進を図るためのモデル事業(「子育てカフェ」事業)の公募による選定結果
  - ・平成22年度4月区認可保育所入所申込状況
- 2月18日(木)
  - ・陳情審査
  - ・めぐる学校教育プラン改定案
  - ・学校運営協議会モデル校活動報告会の実施結果
  - ・学校運営協議会モデル校(設置校)の運営状況と点検・評価(案)
  - ・目黒区特別支援教育推進計画改定案
  - ・平成22年度教育行政運営方針(案)
  - ・平成22年度学校における健康教育の推進
  - ・平成21年度学校評価の実施結果
  - ・目黒区公立学校長職務代理者の指定
- 2月26日(金)
  - 【視察:中央町児童館・学童保育クラブ】

受診率向上策について区の考えを伺う。

区長 受診率の向上には、身近な医療機関で、無料で受診できる環境を整備することが大切である。区報等によるPRをはじめ、勧奨方法にも工夫をし、受診率のさらなる向上に努める。

<災害時の対応>(1)地域の防災力を向上させるため、平時から避難所を運営する予定の区職員と、地域の方々と交流を図るべきではないか。(2)災害時の区民の正確な情報取得について、うわさ、デマなどに惑わされぬ情報伝達は重要である。区民へ早く確実に周知する対策を聞く。

区長 (1)避難場所に参集する指定職員が、可能な範囲でボランティアとし

て地域活動に参加できるように、防災訓練やイベント等の情報提供等を検討していく。(2)災害時には、防災行政無線や広報車等による音声広報などで正確な情報提供に努める。携帯電話の災害時優先メール配信機能を研究していく。

<学校緊急情報連絡システム>(1)「目黒子ども見守りメール」について、登録率の向上策を伺う。(2)このシステムの活用策を問う。

教育長 (1)登録促進のお知らせや、保護者会など会合時の呼びかけで、登録の拡大に努めている。(2)学級閉鎖や下校時刻の変更など、保護者にとって緊急に必要な情報を学校独自に配信することで、効果的な運用を図る。

- 2月10日(水)
  - ・平成22年第1回定例会の招集
  - ・提出予定議案
  - ・会期及び会期中の日程
  - ・議会運営委員会に提案する意見書等
  - ・代表質問→一般質問の通告期限
  - ・陳情
  - ・予算特別委員会の設置及び正副委員長の選出
  - ・本会議における討論通告書の提出期限
  - ・議会運営に関する検討事項
  - ・新公益法人移行後の評議員
  - ・平成22年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果
- 2月18日(木)
  - ・陳情
  - ・代表質問→一般質問の順序
  - ・委員会の開催予定
  - ・平成22年度組織改正
  - ・平成21年度都区財政調整再調整方針
  - ・平成22年度都区財政調整方針
  - ・めぐる区議会メールマガジンの配信
- 2月25日(木)
  - ・議事日程及び進行順序
  - ・意見書(案)
  - ・陳情取り下げ
  - ・議事日程及び進行順序
  - ・諮問(人権擁護委員候補者の推薦)
  - ・意見書案
  - ・平成21年度目黒区包括外部監査報告書
  - ・議会運営に関する検討事項(委員長会の日程)
- 3月12日(火)
  - ・追加提出予定議案
  - ・議事日程及び進行順序
  - ・諮問
  - ・議事日程及び進行順序
  - ・政務調査費に係る日程
- 3月25日(木)
  - ・動議
- 3月29日(月)
  - ・動議
- 3月30日(火)
  - ・追加提出予定議案
  - ・討論通告
  - ・議事日程及び進行順序
  - ・検討事項
  - ・追加提出議案

#### 議会運営委員会

- 1月20日(水)
  - ・議会運営に関する検討事項
  - ・平成21年度前期(4月～9月)分政務調査費収支報告書に係る議長の調査結果(報告)
  - ・区議会事務局の職員体制
  - ・全国市議会議長会表彰
- 2月1日(月)
  - ・平成22年第1回区議会定例会区長所信表明
  - ・実施計画改定案
  - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
  - ・用地活用及び施設整備に関する基本方針案
  - ・公の施設使用料の見直し方針(改定案)
  - ・目黒区行幸計画(行動計画)(改定案)
  - ・平成22年度目黒区各会計予算案
  - ・平成21年度目黒区一般会計補正予算案(第4号)、特別会計補正予算案(第2号)
  - ・新公益法人移行後の評議員
  - ・ハイチ大地震復興基金
  - ・議会運営に関する検討事項
  - ・平成22年4月から平成23年3月までの区議会予定表
- 2月4日(木)～2月5日(金)
  - ・正副委員長の互選
  - 3月15日(月)～25日(木)(土日祝日除く)
    - ・議案審査

### 特別委員会

- 公共施設整備・まちづくり調査特別委員会
  - 1月15日(金)
    - 【視察:中央区・千代田区の複合施設】
  - 1月22日(金)
    - 【視察:墨田区の複合施設】
    - ・自由が丘駅前広場整備基本設計
  - 2月9日(火)
    - ・実施計画改定案
    - ・財政計画(平成22年度～26年度)(案)
    - ・用地活用及び施設整備に関する基本方針案
  - 3月8日(月)
    - ・「自由が丘サテライトエリア地区計画原案」
- 予算特別委員会
  - 3月2日(火)
    - ・正副委員長の互選
  - 3月15日(月)～25日(木)(土日祝日除く)
    - ・議案審査



## 一般会計

**反対** 広がる格差。生存権の保障こそ不可欠。民営化もストップを

日本共産党目黒区議員 岩崎 ふみひろ 議員

日本共産党目黒区議団は、一般会計予算に反対する。

その理由の第1は、経済危機と構造改革路線の影響で貧富と格差が広がっているにもかかわらず、区の姿勢と施策で不十分なのは、憲法25条で定められている生存権の保障という観点から、くらし対策に位置づけていないこと。

第2は、行政の仕事の民営化と正規職員削減の問題。「効率化」「コスト削減」が優先される民営化では、公共サービスの質の低下とともに、委託業者などで働く人の「ワーキングプア化」をもたらすことになり、福祉を増進させるといふ自治体本来の目的を果たすことは

できない。

第3は、区の施設使用料の引き上げ計画など、相変わらずの「受益者負担増」を進めようとしている。区民の経済状態を考えるとすれば、これ以上の負担を押し付けることはできない。施設使用料の引き上げはやめること。

第4は、「地方分権」といながら、保育所や福祉施設などの国の最低基準を撤廃する計画に賛成している。

第5は、枠配分方式の予算編成の中で、一律3%カットという方針を打ち出したこと。福祉や子育てなど区民生活と直結している予算の一律カットは行うべきではない。

**賛成** 未来への備えと現在の課題を視野に入れ、課題への取り組みを!

自由民主党目黒区議員 いその 弘三 議員

自由民主党目黒区議団は、平成21年度目黒区一般会計補正予算(第2号)で、平成22年度予算編成の大変さを乗り越え、基金への積み立てを要望した。本来、平成22年度の既定事務事業や実施計画事業等へ、効率的に予算の配分執行を行わなければならない。当初予算提示の時期に、経済見直しや財源捻出方法を見て、財政調整基金14億1千万円、施設整備基金22億9千4百万円の取り崩しの中での予算編成となり、両基金の22年度未見込み残高では71億9千万円となる。平成22年度中のリスク管理、23年度予算の編成の厳しさなどから、当時示された1億5百万円余の復活予

算はさらに基金の取り崩しを行うものだ。対総予算比では少額であるが慎重な対応が必要と考え、示された復活予算に対しては、自民党目黒区議団のみならず目黒区議会として、満額の要求は避けるべきであると区長部局に要望してきた。今後も厳しい財政運営を強いられる中、まさに最小の経費で最大の効果を生み出す事務事業を精査し、スクラップとビルドを明確化することは避けられない。

区民、行政、議会がまさに共通認識の下、協働的視点に立ち自治機能を充実していかなければならない事を申し添える。

**反対** 住民をもっと仕合せに。もっと幸福にしない予算は違法! 反対だ!

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

わが会派「無所属・目黒独歩の会」は、平成22年度一般会計予算に反対する。反対理由を述べる前にひと言。

今朝、元気に咲いた油面小学校の夫婦桜を見てきた。青木区長の選挙公約だった校庭人工芝化の犠牲になって、夫婦桜は切りられ、殺されるはずだった。けれど、保護者たちが懸命に訴えて立ち上がった結果、救われた。感無量である。

一般会計予算に反対する個別、具体的な理由については、予算特別委員会で、わが会派の議員、坂本史子、増田宜男、梅原たつろう、須藤甚一郎が、それぞれ質疑で指摘し追及した。

大所高所からの反対理由をいえば、地方自治法第1条の2で、「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする」と定めている。「住民の福祉」の“福祉”とは、“福”も“祉”も「仕合せ、幸福」という意味なのである。

しかし、青木区長が編成した平成22年度予算は、目黒区民をもっと仕合せに、もっと幸福にするものではない。税金のムダ遣いばかりが目立つ予算、行政のやり方とどうい賛成することはできない!

**住所が変わりました**

松田 哲也 議員(民主) ちやちや 克彦 議員(民主)

〒153-0042 青葉台1-2-6-201 〒153-0051 上目黒5-18-2

☎3461-0440 電話番号の変更はありません。



**賛成** 地方主権の時代。区政運営から区政経営へ財政計画にも経営感覚を

民主・区民会議 富士見 大郎 議員

いま地方自治体の重要性は高まり、自立した行政運営と自治体の経営能力が問われている。経営には、将来目標の設定、その目標実現に向けた計画の策定、そしてその計画を遂行するために必要な日々の行動の明確化の三つが重要で、区長が、基本計画と実施計画の中で、待機児童ゼロなど6つのゼロを掲げ、目標と計画、そして行動を明確に打ち出したことは評価する。

しかし、区の財政面における「経営」には、まだ不満がある。なぜなら、先に挙げた三つが十分ではないと思うからだ。確かに、高い目標に向かって進んでいくためにはお金もかかる。しかし、「将

来世代との負担の分散」という言葉で、将来世代に大きな借金を残すことは許されない。

まずは公債費比率を一定の水準にとどめる目標をしっかりと設定することで、将来世代への負担の分散と公平性は成り立つ。そしてもうひとつ経営に大切なのは、企業経営で言う不採算部門の整理、すなわち無駄の排除であり、外郭団体等の運営における無駄の徹底的な排除、効率的な運営があってこそ、やむを得ない基金の取り崩しや借金が許されるものである。区長のリーダースhipによる思い切った区政「経営」に期待する。

**賛成** 不況期に船出した改定基本計画で明るい未来の礎を築く区政運営を

公明党目黒区議員 関 けんいち 議員

就職氷河期の再来と言うべき雇用情勢の悪化、デフレの影響など依然厳しい中、目黒区は改定基本計画初年度として、10年を駆け抜けるスタートダッシュに当たる。歳入補填に少ない基金を取り崩し、義務的経費比率も52.6%と硬直化を招かぬよう一層の行財政改革を求める。

予算総額が26億円余減額する中、「暮らしのセーフティネットの充実」に力点を置き、28億円余の増額に暮らしを第一に守る姿勢が見られる。しかし福祉予算が際限なく伸びる状況は、他施策とのバランス不均衡が生じ、サービス適正化、コスト削減も努力せよ。

予算編成方針に掲げる「明るい未来を築く」点に対し、区長は改定基本計画を着実に進める事と答弁したが、象徴的目標「六つのゼロ戦略」の達成は、従来の延長では決して成し得ないであろう。歳入を豊かにする仕掛けや、国や都の補助金を上手く引き出す知恵が必要だ。

昨今、日々の暮らしを圧迫する問題が散見され、気持ちがふさぎこみそうな状況で、明るい未来を築く使命は計り知れず大きい。予算に限界はあるが、様々なセーフティネットで、暮らしをサポートに十分傾注すべき時だ。明るい未来の礎を築く元年と期待して、一般会計予算に賛成する。

**賛成** 基礎自治体の役割を明確にし、目黒の将来像を示せ。

工藤 はる代 議員

増やし、景観を整えて地域を活性化させよ。子ども条例にのっとり「子ども総合計画」が作られたが、活動団体や児童館職員とも連携し、その趣旨を地域に浸透させよ。学校給食の質の確保に努めよ。政策策定過程への区民参加のシステムを構築し、地域主権を実現せよ。

**賛成** 福祉、子育て、環境、安全な街づくりなど緊急課題に迅速な対応を

戸沢 二郎 議員

特別区税等の大幅な減収の中で、「暮らしサポート22」に16億円余計上したのは評価する。目黒区は、基本計画等を改定し、平成22年度から福祉、子育て、環境、安全な街づくり、基盤整備を進めることとした。保育園など子育て支援策や特別養護老人ホーム等の福祉基盤の整備等の施策を、さらに前倒しで進

めよ。国民健康保険料を払えない方が増えている。保険料の軽減やセーフティネットの保障をどうするか。住まいの安心、安全のため、福祉住宅づくりや住宅耐震化改修等の施策を前進させよ。ごみゼロを目指し、分別の徹底と廃プラスチック資源回収を推進せよ。